

◆人工毛の装着方法一例

●横付け



ベーシック且つ安全な装着方法。左右どちらから装着するかは、顧客のまつげの方向や生え癖による。

●上付け



ベーシック且つ安全な装着方法。地まつげの上に人工毛をのせるように装着する。人工毛と地まつげの接地面が見えやすいため、根元浮きなどの確認がしやすい。

●クロス付け



顧客のまつげが極端に曲がっている際や、人工毛を向きたい方向にまつげが生えていない場合は、人工毛と地まつげをクロスさせ、人工毛を希望の方向へ装着する。

●引き上げ



顧客のまつげが下がっている場合、カールの強い人工毛を絡めるように地まつげごと引き上げ、接着面積を多くとりながら、角度をあげて装着する。

※下付けは人工毛が外れかけの際に眼球に当たりやすいため推奨していません。

◆装着の悪い例

●人工毛の根元が浮いている



根元が浮いた状態は人工毛の根元が眼球に当たりやすい。また、グルーは裂ける力に弱いため、持続力が極端に落ちる。

●部分的にしか装着していない



グルーの点付けや人工毛の角度によってごく一部しか人工毛と地まつげが接着していない状態。持続力が低下する。

●根元が空きすぎている



根元が空きすぎていると、まつげが成長するにあたりデザインが崩れやすくなる。人工毛がその重みで下がり、眼球に当たったり黒目にかかることがある。

! グル塗布時の注意点

※グルーが目に入ると危険ですので、液だれするほどつけてはいけません。もし人工毛をつけ損じた場合、その人工毛は廃棄し、新しい人工毛にグルーをつけてから装着します。そうしなければ、最初につけたグルーの上に二度づけしたグルーが重なることになり、凹凸や厚みが出て持続力が低下します。グルーを二度づけ三度づけしてしまうとグルーが大きな塊のような状態で硬化することがあるため、装着に失敗した人工毛は廃棄します。

※ツイザーにグルーがついた場合は操作性が悪くなり危険ですのでその都度拭き取ります。

※グルーは衣服に付着すると取れなくなるので十分注意しましょう。